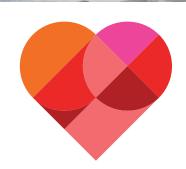
参加対象 一般

2010年2月28日(日)

13:00~17:00 (開場12:30)

入場無料【定員500名】

学術総合センター 一ツ橋記念講堂



日本の技術を、 いのちのために。

基調講演

もっと救いたい、 先端医療機器の力で

妙中 義之

国立循環器病センター研究所副所長 先進医工学センター長

医療クラスターが創る 先端医療機器

土屋 了介 国立がんセンター中央病院長

パネルディスカッション

妙中義之【コーディネータ】

森勇介【コーディネータ】

大阪大学大学院工学系研究科教授

梅津 光生

早稲田大学理工学術院教授 先端生命医科学センター長

大阪大学医学部未来医療センター長

藤本 康二

経済産業省商務情報政策局サービス産業課長

池田 千絵子

厚生労働省医政局経済課医療機器政策室長

山内 和志

文部科学省研究振興局研究振興戦略官付 先端医科学研究企画官

中村 雅美

元日本経済新聞社編集委員

日吉 和彦

化学技術戦略推進機構部長研究員

後援 共催

厚生 労働 文部科学省 済産業省

日本の技術をいのちのために委員会 康医

http://www.inochinotameni.jp 法

旅 客 株 鉄道株 式

東 鹿

本 建

設

日 島

お申し込みはこちら ◇ http://sympo10.tr-networks.org 【参加申込専用webサイト】

第3回NPO健康医療開発機構シンポジウム 国立循環器病センター研究所副所長・先進医工学センター長



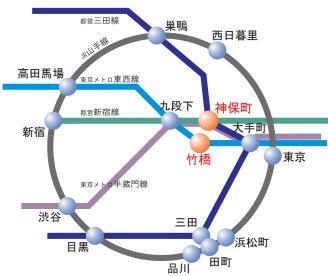
日本の技術を、いのちのために。

2010年2月28日(日) 13:00~17:00 学術総合センター 一ツ橋記念講堂

東京都千代田区一ツ橋 2-1-2



東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線「神保町」駅 A8, A9 出口 または 東京メトロ東西線「竹橋」駅 1b 出口 から 徒歩 3 ~ 5 分



- 申込専用web サイト (http://sympo10.tr-networks.org) からお申し込みください。●申込締切は 2010 年 2 月 24 日 (水) です。
- ●定員に限りがございますのでお早めにお申し込みください。
- ●なお、E-mail, FAX または ハガキ でも受け付けております。お 名前、所属(ご職業・お勤め先など)、ご連絡先(郵便番号, 住所)、 電話番号を明示のうえ、下記の事務局までお申し込みください。

シンポジウム終了後に懇親会がございますので、お時間がございましたら お問合わせ お申し込み ご参加ください。 ●時刻: 18.00 から ●場所: 学士会館 ●会費: 3,000 円

NPO健康医療開発機構 事務局

〒108-8639 東京都港区白金台 4-6-1 東京大学医科学研究所ピトゲノム解析センター DNA情報解析分野内

TEL 03-5795-0096 FAX 03-5795-0098

E-mail sympo10@tr-networks.org

http://www.tr-networks.org (入会受付中)

位循環器病センター研究所副所長・先進医工学センター長 NPO健康医療開発機構TR研究局 日本の技術をいのちのために委員会理事長 妙中 義之

国立循環器病センター研究所副所長・先進医工学センター長。大阪大学 医学部卒。大阪大学医学部附属病院第1外科、大阪厚生年金病院外科を 経て、国立循環器病センター研究所入所。1986年から87年にかけ米国 留学(人工心臓の開発と心臓移植など臓器置換技術の研究)。2007年 より国立循環器病センター副所長・先進医工学センター長。(2006年 科学技術分野の文部科学大臣表彰(研究部門)。2009年「日本の技術 をいのちのために。」委員会設立、理事長に就任。



国立がんセンター中央病院長 NPO健康医療開発機構理事 土屋 了介

胸部外科学 (特に進行肺癌の手術) を専門。慶応義塾大学医学部卒。 米国メイヨクリニック留学後、防衛医科大学助手、国立がんセンター 中央病院臨床検査部長、副病院長を経て現職。医師国家試験委員、医 道審議会専門委員、新健康フロンティア戦略賢人会議委員を歴任。日 本肺癌学会、日本胸部外科学会、国際肺癌学会 (IASLC) 理事。 1984年 田宮賞、1987年 刀林賞などを受賞。



大阪大学大学院工学系研究科教授 NPO健康医療開発機構事務局 日本の技術をいのちのために委員会発起人 森勇介

大阪大学大学院工学研究科教授。大阪大学工学部電気工学科卒。大阪大学院工学科博士課程前期終了。大阪大学助手、講師、助教授を経て2007年より現職。2005年大学発ベンチャー創晶設立、代表取締役を兼務。2006年以降、日経BP技術賞大賞、第1回モノづくり連携大賞・特別賞、文部科学大臣表彰(科学技術賞・研究部門)など多数受賞。主な研究対象はボレート系非線形光学結晶の研究開発、フラックス法によるバルク窒化物・炭化物結晶育成に関する研究開発、有機非線形光学結晶の研究、新しいタンパク質結晶育成技術の研究開発、レーザーのバイオ医療応用に関する研究開発。「日本の技術をいのちのために。」委員会発起人。



早稲田大学理工学術院教授・先端生命医科学センター長 日本の技術をいのちのために委員会発起人 梅津 光生

1979年早稲田大学大学院理工学研究科 (博士) 終了。厚生省国立循環器病センター研究所 初代研究員。1988年オーストラリア人工心臓開発プロジェクト初代リーダー (シドニー・セントビンセント病院工学部長)。1992年早稲田大学理工学部機械工学科 教授。2001年 早稲田大学大学院生命理工学専攻初代主任。2008年から早稲田大学理工学術院教授・先端生命医科学センター長。主な研究対象は生体医工学/人工臓器/再生医療工学。2001年国際バイオメディカルエンジニアリング学会 (シンガポール) 栄誉賞受賞。「日本の技術をいのちのために。」委員会発起人。



大阪大学医学部未来医療センター長 NPO健康医療開発機構TR研究局 日本の技術をいのちのために委員会発起人 **澤 芳樹**

大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科学教授。大阪大学 医学部附属病院未来医療センター長。大阪大学医学部卒。ドイツ Max-Planck 研究所(フンボルト財団研究員)、大阪大学医学部第一外科講師、大阪大学医学部外科学講座助教授などを経て現職。2007 年、患者 の筋肉細胞からつくった細胞シートによる心筋再生治療に世界で初めて 成功。2006 年日本バイオマテリアル学会賞などを受賞。



化学技術戦略推進機構部長研究員 日本の技術をいのちのために委員会理事 日吉 和彦

1972年大阪大学大学院理学研究科高分子化学専攻終了。同年、旭化成工業入社。1975年~1977年、米国ダウケミカル社ミッドランド中央研究所員。1998年、旭化成メディカル株式会社取締役技術総部長。2005年、財団法人化学技術戦略推進機構へ出向。2009年、「日本の技術をいのちのために」委員会設立に積極的に関わり、理事就任。





Health and Medicalcare Promotion